

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むかわ町子ども発達支援センター穂別きらり		
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 10日		～ R6年 10月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R6年 9月 1日		～ R6年 9月 27日
○従業者評価有効回答数		6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・定期的に穂別小学校・穂別中学校とケース会議を開催し、支援センター利用児童の成長を促してもらえるように、理解を深めてもらう。	・むかわ町の担当保健師・臨床心理士も参集し、支援方法についてアドバイスをもらったり、支援方法について協議する。	・穂別小学校・穂別中学校とケース会議を開催するにあたって、日時など皆さんが集まりやすい調整をしていく。
2	・必要な研修を受講できる環境である。 必ず講習を受けるようにしている。	・全員が年に1回以上、外部の研修を受けている。	・ZOOM研修などは、参加できる職員皆で受けるようにし、専門性を高めるようにする。
3	・放課後デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	・放課後デイサービス計画を職員全員で検討し、子どもさんの課題、状況を把握し、皆で支援できる体制をつくっている。	・今後も放課後デイサービス計画を全職員で把握し、どの職員も声掛けできるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・夏季の猛暑日にエアコンなしの個別室は厳しい。改善が必要。	・ホールにはエアコンが設置されており、暑い日は全体にいきわたるように開放しているが、限界がある。	・ホールにはエアコンついているので、暑い日はホールに移動しての療育とする。 ・今後も個別室のエアコン設置に向けて、要求していきます。
2	・できれば長期休み中の長時間受け入れ児に対応できるスペースがあれば良い ・中学生になると運動する場所が狭くボールや羽根がすぐに天井にひっかかる。それなりのルールを設定するしかなく工夫も必要であるが十分力を出すことができない。	・長期休み中の長時間受け入れ児に対応できるスペースがあれば良いと思われるので、工夫して受け入れられる日を増やしていきたい。 ・ルールをそれなりに設定し、工夫していく。十分力を出すことができるよう、車で移動しスポーツセンターなどの施設を利用する。	・長期休み中の長時間受け入れ児に対応できるスペースがあれば良いと思われるので、工夫して受け入れられる日を増やしていきたい。
3	・通信・ホームページ・SNS等発信されているかよくわからない。	・毎月通信を発行している。自己評価をホームページに掲載している。	・毎月通信発行しているが、周知方法としてSNSの活用など検討していきたい。 ・自己評価はホームページに掲載、事業所玄関にも掲示しているので案内していきたい。